

第3回 豊明市文化財保護委員会会議録

日 時：平成27年12月18日（金）午前10時00分～12時00分

場 所：豊明市役所本庁舎 東館3階 教育委員会室

出席者：浅井委員、成田委員、三浦委員、相場委員、村野委員、佐野委員、鈴木兼幸、
近藤委員

事務局：市野教育長、樋口生涯学習課長、塚本課長補佐、岸田専門員、神谷社会教育
指導員

1 委員長あいさつ

2 協議事項

(1) 沓掛城址の市指定経過（調査報告書のまとめ）について

公園を中心に市指定に向けた詳細な調査を行い、範囲は今後詰める。主に遺構が残された本丸部分を指定の対象とし現状保存で考えていく。

文化財保護委員の共通認識のもと平成28年2月を目安として委員長・副委員長、鈴木委員で調査書のとりまとめを行う。なお、事務局で必要資料を提供する。

過去における文化庁からの報告の中で国指定史跡である名古屋市の大高城、丸根砦、鷺津砦、豊明市内の桶狭間古戦場伝説地と並んで歴史的に価値が高い旨の評価がされている。対外的に市内文化財の中でも重要な場所であることを示し、形状を残していけるように地元町内会に協力・理解を得ながら進めていく。

(2) 文化財保護委員会の開催日数について

十分な進捗状況を示し、今後の市指定、大狭間湿地用地取得、戦人塚改修計画などの事業に特化できる体制にするため開催日数を年4回から3回にする。

(3) 市指定史跡 一之御前安産水について

委員会としては市指定で保存していきたい。指定は「湧水」が主となり復元させるために地下水を引っ張ってくるためのボーリング調査をする必要がある。

第1段階としてボーリング調査には費用がかかるが、氏子さんの意向で実施する考えがあれば委員会より市へ要望書を提出し、市補助金を利用した水脈調査を行う。水が出なかった場合は、市指定についての協議を行う。今後も継続審査を行い、調査内容については委員会に諮ることとする。

(4) 豊明の諸家に眠る文化財の保存について

豊明市には保管資料として近世文書の原本が少ない状況にある。本物は散逸していかないようにするため資料の膨大な寄贈に対して調査・協力体制を整えていく必要がある。歴史民俗資料室、二村会館収蔵庫等の収容スペースを決め、市に必要なものを寄贈してもらえようとする。

3 報告事項

- (1) 戦人塚整備計画について
戦人塚の土砂流出にともない、平成28年度に現地測量、平成29年度に土留、芝張などの整備工事を行う。国指定史跡整備のため委員会開催時に審査会を開き、考古部門と整備部門の専門家にも入ってもらう。
- (2) 市史編纂室事業報告について
豊明市桶狭間古戦場伝説地内にある「今川義元墓の向きと御堂の変遷」及び「駒つなぎのねずの云われ」について調査事項を説明。
- (3) 2月広報特別号の掲載内容について
今後の歴史民俗資料室常設展示室の展示替を考慮し「信長軍の義元本陣攻撃時の天候について一文献の天候急変に関する記述の気象学的見地からの検証一」をとりあげる。

4 その他

- (1) 事業報告説明
- (2) 平成29年度企画展のテーマについて
次回の歴史民俗資料調査研究会でテーマを上げ協議・決定する。

次回文化財保護委員会 平成28年3月10日(木) 10時00分から